



中心商店街の活性化策などを探った「まちづくりシンポジウム2008」

中心商店街の活性化策を探る、まちづくりシンポジウム2008」が10月3日、北秋田市中央公民館で開かれ、市民ら約100人が専門家による講演とパネルディスカッションでまちづくりの課題について探りました。

中心商店街の活性化策を探る

「まちづくりシンポジウム2008」

を考えよう」と開催されたものです。

講師は、長崎県佐世保市で元気なまちづくりを実践されたきた竹本慶三氏と、日本政策投資銀行地域振興部参事役の藻谷浩介氏。

最初に講演した竹本氏は、佐世保市で賑わいを創出する多彩なイベントをリードし活性化につなげてきた仕掛け人として知られています。商店街の役割は何か。まず経済的な役割、人と人とのコミュニケーションを生む社会的な役割、そして交流から生まれる文化的な役割がある、などと力説。総延長1キロと日本一長いアーケードで、一帯をイルミネーションでライトアップする、きらきらフェスティバル」というイベントを始めたことなどを紹介しました。

北秋田市同様に郊外に大型SCが進出、危機感を感じる中で、イベントによる元気なまちづくりを進めた佐世保の事例に聴衆も感心しながら聞き入っていました。

一方、藻谷氏は商業統計調査など綿密な統計データに基づいた持論を展開。地方の都市にも大型店が次々と進出する状況に疑問を投げかけていました。

「北秋田と中国の絆」

シンボル完成を祝う

大野台の地に「日中友好青年交流之碑」が完成、除幕



北秋田市と中国の友好の絆のシンボルとなる記念碑を除幕

下杉の県立営農大学校跡地にこのほど日中友好青年交流記念碑が建立され、10月2日、関係者や、かつて大野台で学んだ中国人研修生OBらで除幕式を行うとともに、竣工祝賀会で記念碑の完成を祝いました。

記念碑は、合川日中友好交流協会（成田道胤会長）、鷹巣日中友好後援会（中嶋修三会長）、元大野台経営伝習農場同窓会清水修智会長などが発起人となり、日中間の友好の絆をさらに深め大野台の歴史を後世に伝えるようとの目的で建立したものです。

台座は6m x 4m、中国・山西省産の黒御影石でできた石碑は幅4m、

高さ75cmで、碑の前面には第1期の留学生・張成波さんが揮毫した「日中友好青年交流之碑」の文字、裏面には大野台の沿革などが記されています。また、大学校歌と伝習農場歌が記された2基の石碑が両脇に設置され、それぞれの碑の裏面には100人の留学生と、短期留学生41人の氏名が刻まれています。除幕式には、卒業生、教職員、友好協会の会員ほかこの日のために北秋田市を訪れた中国人研修生ら約80人が出席。研修生は、留学生同窓会長で第3期生の胡凱さん、第1期生の張成波さん、杜惠儀さんなど11人。テープカットの後、岸部市長、成田会長、胡凱さんら8人で除幕を行いました。この後、北秋の杜パークセンターで行われた祝賀会では、参加者が竣工を喜び合いました。来賓祝辞では胡凱さんが、「日中の信頼と友好の絆を永遠に留めることができる記念碑の建立はまさに私達中国人留学生の思いを代弁するもの。この素晴らしいアイデアに改めて深く感謝するとともに、この日を新たな出発点として、さらなる日中友好を深めたい」と誓っていました。

伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けてPR

第8回縄文まつり



伊勢堂岱遺跡の世界遺産暫定リスト入りをPRした「第8回縄文まつり」

国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」など市の縄文遺跡と文化をPRする秋恒例のイベント「第8回縄文まつり」が10月4日、秋田内陸線小ヶ田駅そばの伊勢堂岱遺跡を会場に開催され、子どもたちや考古学ファンらが遺跡見学や勾玉づくりなどで縄文づくしの1日を過ごしました。同遺跡が国の指定史跡に指定された平成13年、伊勢堂岱遺跡に関心を持ってもらい、また子供たちにも体験学習の場を提供しようとしたもので、今年と同遺跡が、北海道・東北の縄文遺跡群へ秋田県など4道県）として世界遺産暫定リスト入り

したことから関心も高く、内陸線などを活用し、例年より多くの市民が訪れました。開会セレモニーでは、伊勢堂遺跡ワーキンググループの佐藤喜美男会長が、「今朝方の雨により、この縄文の聖なる地もさらに清々しくなってきた気がする。縄文人も歓迎してくれたよう、私たちも縄文時代に帰ってやさしい気持ちでまつりの一日を過ごしましょう」とあいさつ。会場では、遺跡見学会のほか、土偶や当時の装飾品だった勾玉づくり、弓矢の当て、火おこし体験、縄文クイズなどのイベントで、縄文文化をPR。土偶づくりでは、子どもたちや親子が同遺跡出土の土偶や、恐竜などを思い思いに形作っていました。このうち、火おこし体験は、「舞いざり式火おこし」という道具を使っておこすコーナー。道具を回転させ、心棒と床に置いた板との摩擦熱で発火させますが、子どもたちは、なかなかコツがつかめず、回し続けても出るのは焦げ臭いにおいばかり。スイッチ一つで火がつく現代生活の便利さをあらためて感じていた様子でした。

都市緑化月間

～ひろげよう 育てよう みどりの都市～ 都市緑化推進のための諸活動を行い、地域住民の緑化意識の高揚を図り、もって都市の緑化及び都市公園等の整備の推進を図ります。

食生活改善普及月間

～良い生活習慣は気持ちいい～ 国民一人ひとりの食生活改善に対する自覚を高め、日常生活での実践の促すことを目的に、毎年10月を食生活改善普及月間としてこの運動を展開しています。

市長日誌

9月16日～30日

18日(木) 平成20年北秋田市議会9月定例会本会議 一般質問(市議事堂)

19日(金) 平成20年北秋田市議会9月定例会本会議 一般質問(市議事堂)

21日(日) 秋の全国交通安全合同出発式(市役所駐車場) 第3回北秋田市軽トラ市・フリーマーケットオープニング(出席、駅前商店街) 竜森小学校創立130周年記念式典および祝賀会(出席、竜森小学校)

23日(火) 北秋田市広域カントリーエレベーター竣工神事・式典・祝賀会(出席、大野台地内・サンシャインあいかわ)

24日(水) 元合川町議故金田悦財門さんおよび元阿仁町議故梅村長之助さんの叙位伝達式(出席、市役所) 木質バイオマス実証プラント事業に関する会議(市役所分庁舎)

26日(金) 平成20年北秋田市議会9月定例会本会議最終(市議事堂)

27日(土) 北緯40°秋田内陸リゾートカップ1000キロチャレンジマラソン2008年大会前夜祭(出席、仙北市交流センター)

28日(日) 北緯40°秋田内陸リゾートカップ1000キロチャレンジマラソン2008年大会後夜祭(出席、北秋田市交流センター)



100キロマラソン前夜祭で(9/27)